

CAR DVR

NEXT V2 HD

ユーザーマニュアル



製品注意事項



車両内部を掃除する際に水又は揮発性薬品では製品を掃除しないでください(製品損傷の恐れがありますし、火災及び感電が発生することもあります。)



本機に大きな衝撃や異物質などを投入しないでください
(製品損傷の恐れがありますし、火災及び感電が発生することもあります。)



過度なスモークフィルム, 又は特殊なガラスはなるべく控えてください。
(映像がぼんやりしたり偽造されることや、GPS受診にも問題が生じることもあります。)



必ず製品電源を切り、SDカードを抜いてください。(メモリ損傷の恐れがあります。)



使用者が任意で製品を分離又は改造しないでください(使用者任意で操作し損傷された製品は当社では責任を取りません。)

製品について

NEXT V2はCAR Digital Recorderとして車両の衝突(衝撃),加速による事故当時の動画像及び音声を保存し, 事故の明確な原因究明に手助けが出来る製品です。

又、PCのビューアソフトで地図上の車両運行経路や場所を確認出来ます。

連続録画機能

走行中に車両前方映像を連続録画します。録画速度と解像度は調節出来ます

録画速度 – 最大 30 fps

録画解像度 – 1080P(1920 x 1080), 720P(1280 x 720)
450P (800 x 450)

イベント録画機能

連続録画中にイベントが発生し自動でイベント録画されます(取扱説明変更可能)。

緊急 (緊急ボタン呼出時)

衝撃 (車両に物理的な衝撃時)

加速 (車両の速度が使用者が指定した速度以上の時)

イベント録画時にはイベント(緊急ボタン作動時, 衝撃, 加速など), 発生後(2~30秒)映像データが保存されます。

映像及び音声, 速度及び位置データ分析機能

保存媒体(SDメモリ)を通じ収集されたデータはPC専用ビューアで簡単に見られます。録画された映像の再生と同時に速度及び地図上の位置が表示されるので事故場所と事後原因が分かります

目次

■ 製品構成	5
■ 製品名称	7
■ 製品仕様	8
■ 簡単設置手順	9
■ 製品設置	10 - 13
■ ヴェアソフトのインストール方法	14
■ ヴェアソフト説明	15
■ 再生方法	16 - 17
■ 再生Tip	18 - 21
■ キーボード短縮キー	22
■ 映像バックアップ方法	23
■ システム設定	24
■ イベント設定	25
■ ユーザー設定	26
■ SDカード	27
■ バージョン情報	28
■ アップグレード方法	29
■ 故障自己診断	30
■ 参考事項	31 - 33
■ 各状況別LED&ブザー音	34
■ 製品保証書	35

製品構成



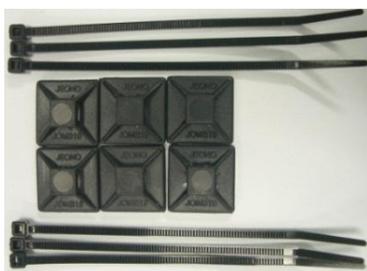
NEXT V2 HD



USB連結ケーブル



電源ケーブル



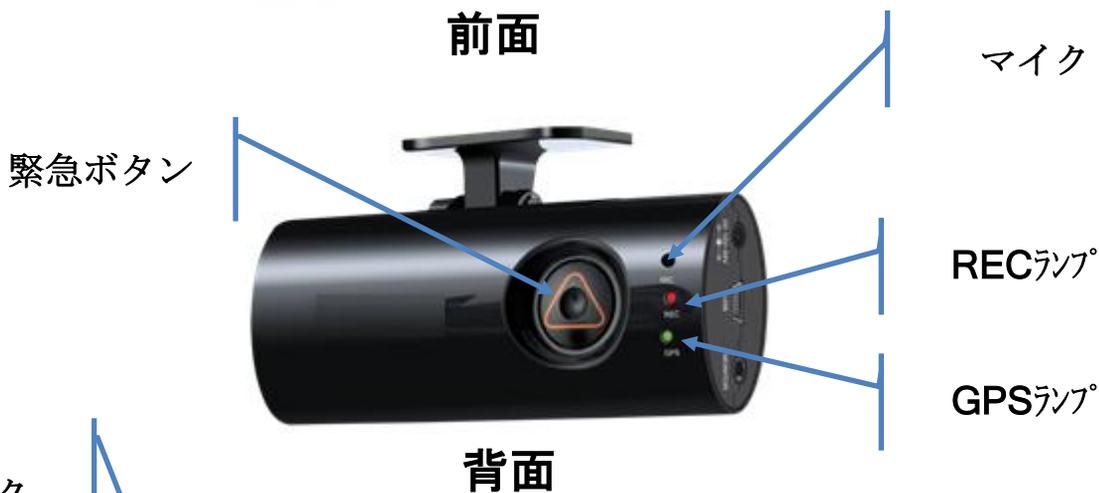
取付キット



設置ガイド/
インストールCD

製品高製品は上記の絵と多少異なる事もあります。

製品名称



電源
ジャック

ミニUSB
インカメラ
接続

モニター
ジャック



製品名称

赤外線
LED



LINKランプ

Accessランプ

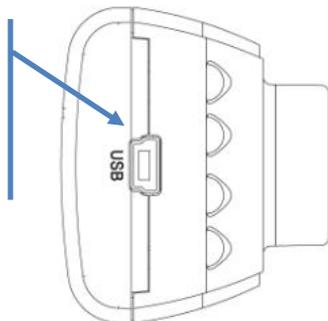
前面



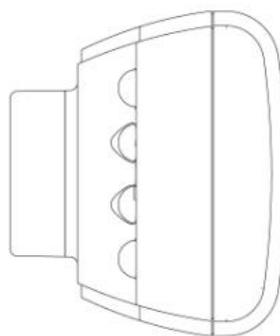
マイク

後面

ミニUSB
メインカメラ
接続



左面



右面

製品仕様

NEXT V2 HD 仕様	
イメージセンサー	高解像度CMOSセンサー
音声録音	C-MIC 内蔵
ビデオ 圧縮方式	H.264
オーディオ圧縮方式	ADPCM
録画解像度	1080P(1920X1080), 720P(1280X720), 450P(800X450)
録画速度	最大 30fps
緊急ボタン	緊急ボタンによるイベント録画
G-Sensor	外部衝撃によるイベント録画
GPS	加速設定値によるイベント録画
保存メディア	SDHCカード(最大 32GB、標準 8GB) 推奨: Class 6以上
画角	メイン: 基本 130° ・ インカメラ 基本 130°
ビューアー	V2 専用の映像ビューアー(Windows XP / Vista 7/8 サポート)
電源	DC 12V ~ 26V (enable Car Battery)
作動温度範囲	-5°C ~ 50 °C (保存温度範囲: -20°C ~ 80°C)
作動湿度範囲	10 ~ 95%
サイズ	メインカメラ 102.5 (W) X 42(D) X 27(H) mm インカメラ 66.0 (W) X 36(D) X 42(H) mm ※ブラケットスタンド除く
重さ	メインカメラ 100g (SDHCカード含まず) インカメラ 80g

※ 製品性能向上のために予告なし変更されることもあります。

簡単設置手順

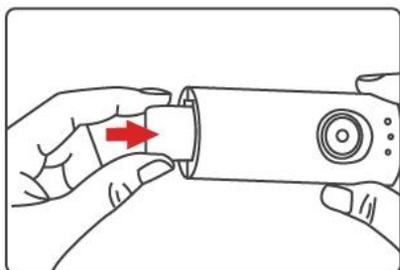
1. 製品を取出しSDメモリーカードを本体に差し込みます。
2. 取付具と本体(インカメラも同じ)を結合させます。
3. 車両内部ミラーと近いところに乾いた布で窓ガラスの湿気や異物質を拭きとります。
4. 取付具に付着されているステッカーの保護膜を除去します。
5. 車両に付着した後、ブラケット固定ネジをドライバーで固定します。
6. 本体 と インカメラをUSBケーブルで連結します。
7. 電源ケーブルは車両につなぎ固定した後でレコーダー本体と接続します。
8. 車両のエンジンをかけテストドライブをして見てください(RECランプが点灯したら正常作動です)。
9. 運行後電源を完全に遮断し、RECランプ・GPSランプ・LINKランプ・Accessランプ が 消灯した後SDメモリを抜き、PCで専用ビューアーで録画映像を確認してください。



注意事項

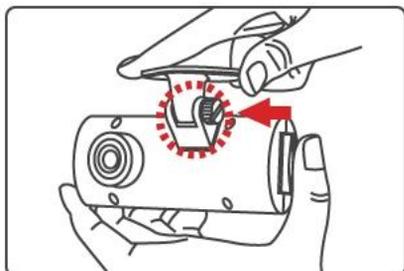
- 製品設置時、安全な所に駐車し作業してください。
- 必ずエンジンを切り本体の電源端子に接続してください。
- 電源はシガージャック(DC 12V~24V)に接続してください。
- 製品を付着前に窓ガラスを乾いた布で綺麗に拭いてください。異物質や湿気がある場合は製品が落ちることもあります。
- 装着完了後製品レンズ部位を乾いた布で拭いてください。

製品設置



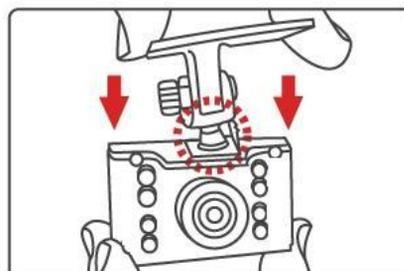
写真のように本体にSDメモリを挿入してください。

写真のように挿入しないと入らなくなります。又、強制的に挿入するとSDメモリと製品に損傷を与えることもあります。

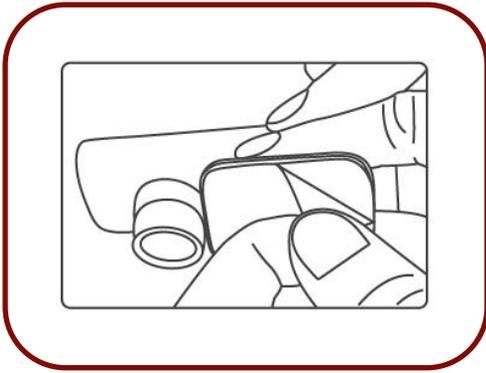


ブラケットを前方本体に装着して下さい。ブラケット固定ねじが上で基準として左側の側面になければなりません。

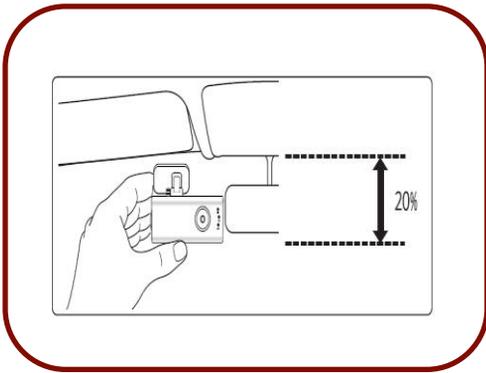
装着が難しい場合、ブラケット方向を反対に装着して下さい。



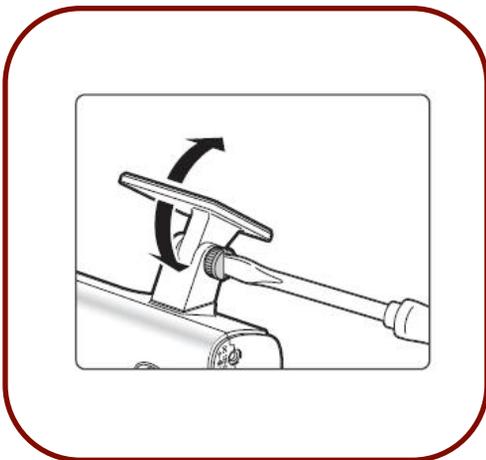
ブラケットをインカメラに装着して下さい。図のとおり左側ホームにブラケットを固定ある後の下で押します。



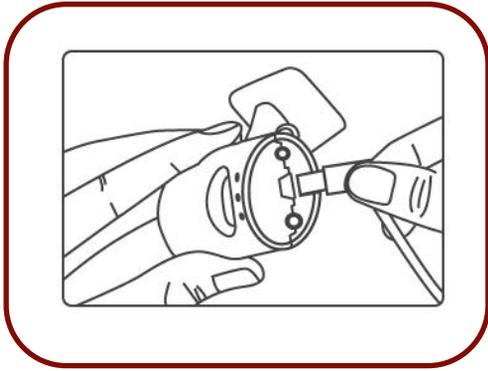
ブラケットに付着されている保護テープを除去します。



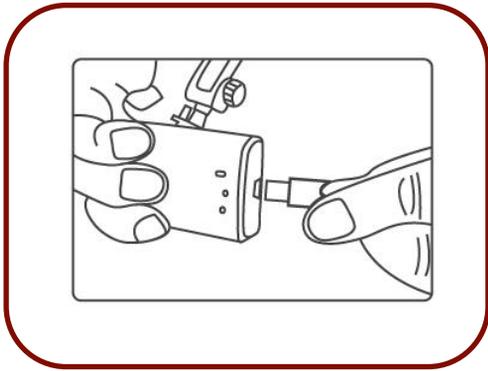
車両付着位置を選定して付着後ネジを回してカメラが正面および車両内部に向かうように製品の撮影角度を合わせて下さい。この時、レンズ前面に障害物がないように注意して付着して下さい。



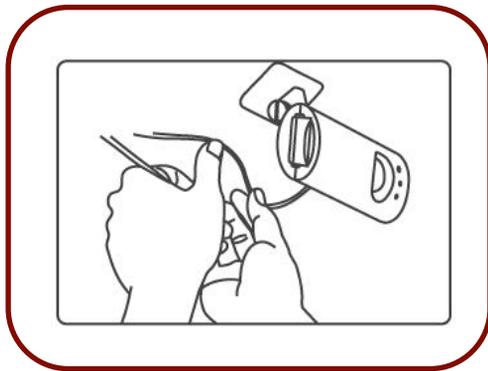
付着完了後ブラケットねじをドライバーやコインで固定して下さい。



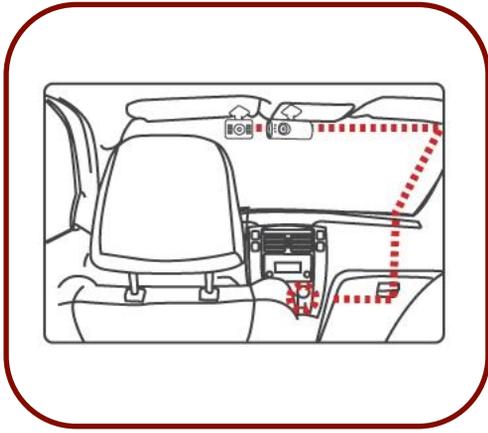
メイン本体のUSBエディットケーブルを連結します。
※USBケーブル形状はストレート
連結時挿入方向を確認して下さい。



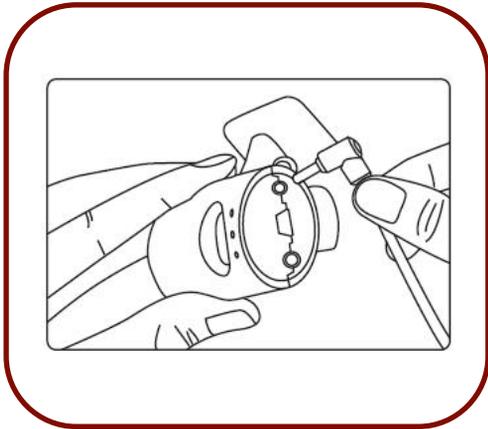
同じようにインカメラのUSBエディットケーブルを連結します。
※USBケーブル形状は L型 です。



電源ケーブル及びUSBケーブルを
ケーブルホルダーで
車両内部を整理してください。



装着が完了したイメージです。
使用車体・車種装着状況によって
違うようになりえます。



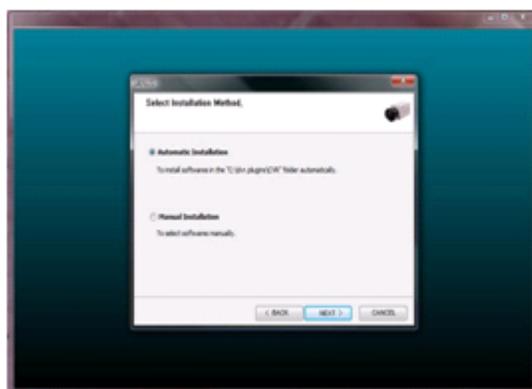
本体に電源ジャックを差込んだ上で
車のエンジンをかけてください。

ブザーが鳴り起動します。
30秒以内に最終ブザーが鳴り保存を始めます。
RECランプが点灯したら正常動作です。

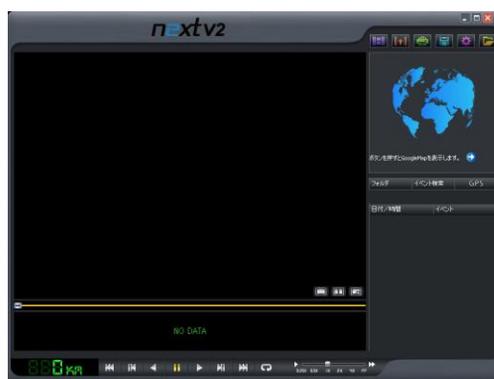
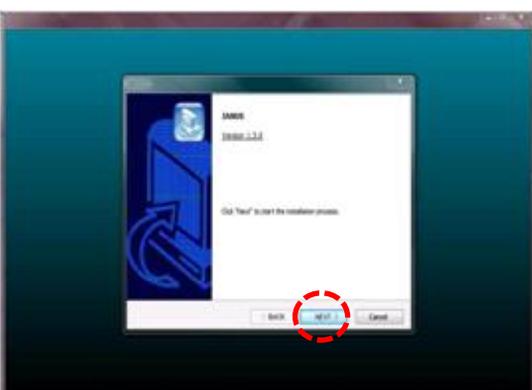
ウェアソフトのインストール方法



CDの“NEXT_V2_HD.exe”
ファイル実行します。
「次へ」をクリックしてください。

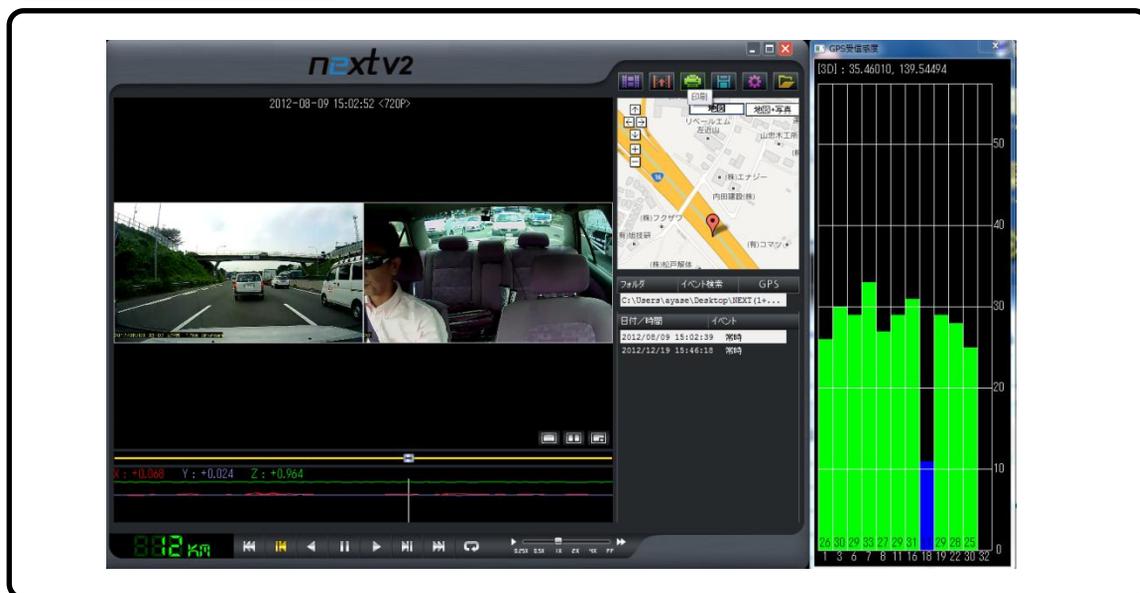


標準インストール(推奨)を
選択し「次へ」をクリック
してください。



設置が完了したら自動でCVR_HDビューアプログラムが実行されます。
デスクトップにアイコンが生成されます。

ウェアソフト説明

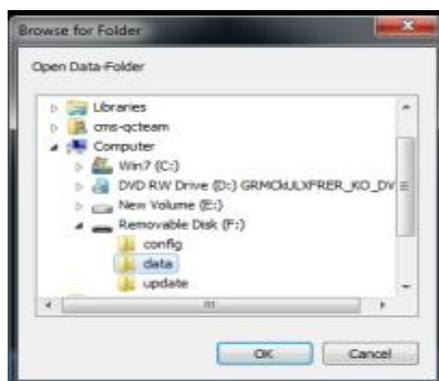


	逆再生・再生		イベント検索
	1フレーム再生		GPS受信状況切替
	イベント反復再生		パノラマ画面
	一時停止		車間表示
	次にイベント		プリント
	再生速度		バックアップ
	速度計		設定画面
	画面選択		ファイル開く
	地図 (インターネット 接続必須)		GPS受信状況画面

再生方法



NEXT_V2の電源がOFFになったら
SDメモ리카ードを抜き
PCでCVR_HDのビューアーから
「ファイル開く」を
クリックしてください。



ファイルを開いて
リムーバブルディスク及び
データ保存フォルダーを選択し
「OK」をクリックするとビューアー
プログラムから映像確認が
出来ます。



メイン画面で時間帯を選択し
再生ボタンをクリックしてください。

保存ファイル詳細説明

PCにSD CARD接続しNEXT_V2 のウェアプログラムを実行すると自動で録画画像が読み取ります。

但し、

イベント録画データー及び一般データーのみ再生時には下記からフォルダーを選択し再生できます。

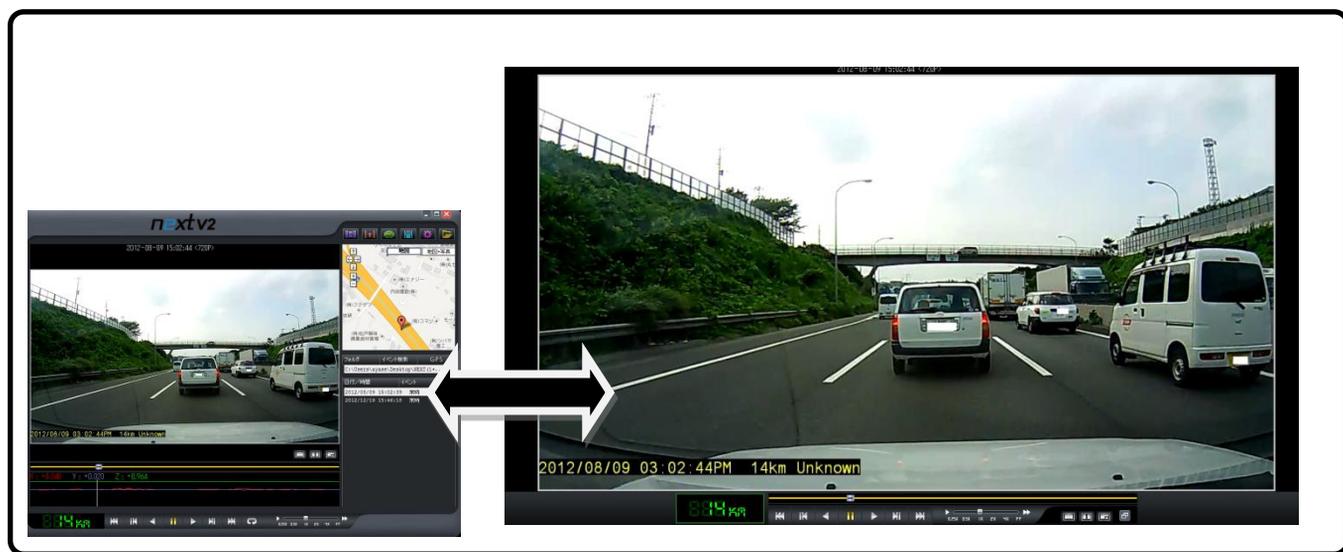


CONFIGファイル : システム設定値とLOGファイル保存フォルダーです。

DATA ファイル : 一般録画データーフォルダーです。
一般録画データーのみ再生時選択します。

UPDATEファイル : アップデートファイルを保存する保存フォルダーです。

再生TIP

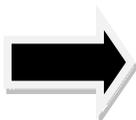


メインが画面でマウスの左ボタンをクリックすると全体画面に変わります。
再び左ボタンをクリックすると以前画面へ戻ります。

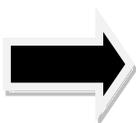
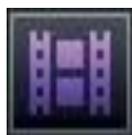


再生画面からマウス右ボタンで拡大したい画面をドロップすると画面が
拡大されます。
拡大画面移動はマウス左ボタンをホールドしてマウスを動かして下さい。
再び右マウスをダブルクリックすると画面は戻ります。

再生TIP

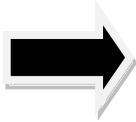


メイン画面から車線設定アイコンをクリックすると車線画き機能に入ります。
車線は任意に設定すると映像に適用されます
機能解除はアイコンをクリックし車線画き解除を選択します。



メイン画面でパノラマアイコンをクリックすると機能に入ります。
全16個の画面構成になりそれぞれの画面を見せます。
特定画面をダブルクリックするとフレーム画面に変わります。
再生, 逆再生時一フレームずつ1~16番を順番に見せます。
赤い四角のアイコンをクリックするとメイン画面に戻ります。

再生TIP



メイン画面で上記のアイコンをクリックすると区間反復画面に表示されます。
開始及び終了時間を設定するとその区間は反復再生します。
区間反復機能は一つのイベント区間でのみ可能です。
※反復再生箇所の保存は出来ません。

イベント ユーザ情報 SDカ

イベント

- ボタン
- 衝撃
- オーバースピード
- 急加速
- 急減速
- 駐車
- モーション



車両が停車及び駐車時10分経過後、動きが全くないと判断されると
駐車モードに変換します。

駐車モード録画時は一般イベント5フレーム、動き検知時イベントフレームで
録画します。

車に衝撃や人が乗ると駐車モード録画は解除され既存設定に戻ります。

再生TIP



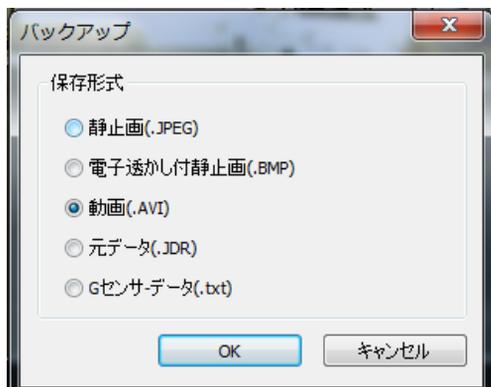
2012/08/09 03:02:39PM

再生時、映像左下段に時間と日付が表記されます。時間と日付表記は全てバックアップファイルに適用されます。

キーボード短縮キー

- BackSpace : 逆方向再生
- Space : 正方向再生
- Left : 逆方向 1Frame 再生
- Right : 正方向 1Frame 再生
- Up : 前イベント
- Down : 次イベント
- Numpad(+) : 音声ボリューム Up
- Numpad (-) : 音声ボリューム Down
- 数字キー(+) : Play Speed Up
- 数字キー(-) : Play Speed Down
- Enter : 全体画面又は画面復元
- Esc : 画面復元
- Shift + Enter : パノラマモード

映像バックアップ方法



バックアップには
イメージバックアップ (JPEG, BMP),
AVIバックアップ,
JDRバックアップ,
G-SENSORバックアップ
があります。

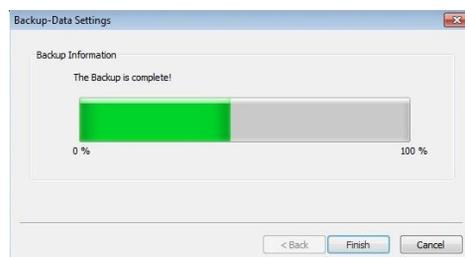
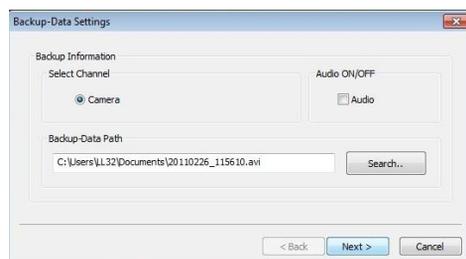
- イメージ, AVI, JDRバックアップ-
- ①時間帯(メイン画面)を選択し
 - ②バックアップボタン をクリック
します。

かならず音声保存希望の場合は
チェック入れデータ経路を指定し
「次へ」をクリックしてください。

AVI動画像再生プログラム Windows
Media Playerや Gom Playerで実行出
来ます。

JDRバックアップはCVR_HDビューアー
のみ再生可能です。

イメージデータは
イメージビューアー又はペイントで見
られます



システム設定

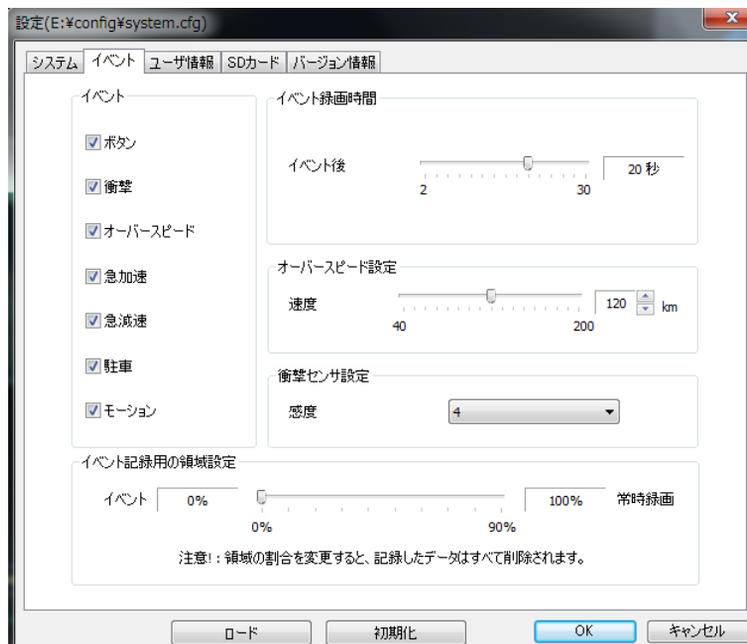


- 常時録画 - 1秒当たり再生可能なフレーム調整機能です。
- イベント録画 - イベントが起きたときに録画フレーム設定です。
- 解像度 - 映像の大きさを調整する機能です。

上記の項目はデータサイズとSDメモリ保存空間と関連があります。

- 音声録画 - 保存データに音声保存有無を指定できます。
- 上書き保存 - SDメモリ保存データを古いデータから上書きしながら保存する機能です。
「しない」を選択すると最後のデータが保存されたらそれ以上保存しません。
- 標準時 - GPS受信と保存時間と関連あります。
- 自動的に再起動する - SDメモリ点検のために自動再起動する機能です。
- Km/Miles - 速度表示を変更する機能です。

イベント設定



- イベントー緊急 / 衝撃 / 加速 / 急加速 / 急減速 / 駐車 / モーション の機能使用選択です。
- イベント録画時間
イベント後 ー イベント発生後に指定したフレームで2ー30秒間データが保存されます。
- オーバースピード設定 ー 加速速度値を調整します。
- 衝撃センサ設定 ー 衝撃敏感度を調整します(G-センサー)。
- イベント記録用の領域設定 ー 一般及びイベントフォルダー保存容量比率を設定します。

注意事項



イベント保存容量の比率設定が変更されると常にSD CARD FORMATをします。
この点を注意し重要なデータは事前にバックアップすることを推奨します。

ユーザー情報

設定(C:\Users\ayase\Desktop\橋本\Janus HD\JANUS(20120314)\config\system.cfg)

システム イベント ユーザー情報 SDカード バージョン情報

車両情報

車両情報

運転者情報

車両番号

ユーザ情報

ユーザID admin

パスワード

ロード 初期化 OK キャンセル

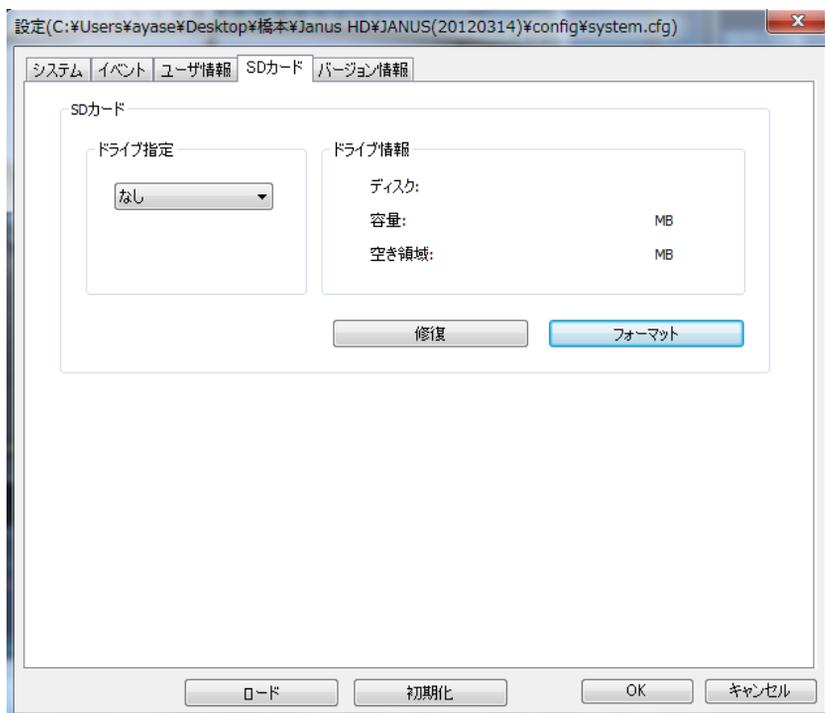
- 車両情報-使用する車両ナンバーを入力します。
- 運転者情報- 運転手の名前を入力します。
- 車両番号- 製品のシリアル番号を入力します。
- ユーザ情報
- ユーザID- メイン画面ログインIDを入力します(基本値 admin)。
- パスワード- ログイン時パスワードを設定します(基本値-無し)。

注意事項



ここはユーザ情報を登録するところです。
情報流出に注意してください。
パスワードを忘れた場合はメイン画面へのログイン
が出来ませんし映像も見られません。

SDカード



SDメモリに異常発生や復旧及びフォーマット機能です。
作業前にデータが削除されることもあるのでバックアップをしてください。

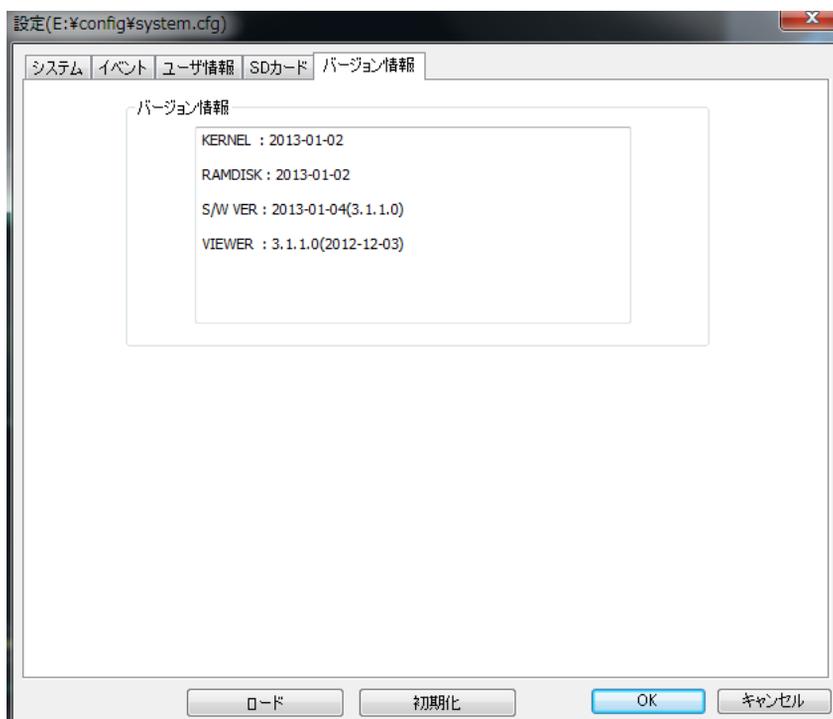
- 装着されたSDメモリドライブを選択してください。
- 項目を選択してください。
- フォーマットはデータが全部削除されます。
事前にバックアップしてください



注意事項

SDメモリを長時間使用すると速度低下が起きます。
SDメモリ管理が重要です。
週1回又は月2~3回程度はSDメモリをフォーマット
又は点検してください。

バージョン情報



- KERNEL- 製品KERNEL情報です。
- RAMDISK- RAMDISKの情報です。
- S/W VER- 製品のソフト情報です。
- VIEWER- ビューアーバージョン情報です。

アップグレード方法

1. ファームウェアダウンロード。
2. 購入先のホームページや担当者から入手してください。
3. CVR_HD 電源をOFFにしてください。
4. SDメモリを抜いてください。
5. SDメモリをPCに接続しダウンロードしたファームウェアをSDメモリフォルダーにある“update”にコピーしてください。
6. コピーが完了されたSDメモリをCVR_HDに差し込んでください。
このとき電源はOFFままにしてください。
7. エンジンをかけてください。
8. 電源をONにしてください。
9. ブザー音と共に起動します。全てのLEDが点滅します。
10. アップグレードが完了すると再起動し正常作動します。

正常作動可否は

緊急ボタンを押すとRECランプが点滅すると正常に完了されたか確認できます。

故障自己診断

症状	確認及び措置
機器の電源が入らない	電源プラグが正しく接続されているか確認してください
	入力された電圧が正しいか確認してください
	本機器の電源が正しくつながっているにもかかわらず電源が入らない場合は購入先に問い合わせてください
	シーガジャック内部ヒューズを確認してください。(250V/3A以上)
録画された映像が検索出来ない	検索の際に録画中の映像データがあるか確認してください
録画しない	SDカードが不良か確認してください
	SDカードをフォーマットしてください。
	2秒間隔でブザー音が鳴るとSDメモリを再装着してください。
	それでも問題があったら購入先に問い合わせてください
録画映像を再生できない	SDカードが不良か確認してください。
	SDカードをビューアプログラムでリムーバブルディスク項目にある復旧機能を利用してください。
	それでも異常があるなら購入先に問い合わせてください
物体がかすんで見える	カメラを柔らかい布で綺麗に拭き再度確認してください
	カメラはいつも綺麗な状態を維持してください
	上記の措置をとっても同じ症状であれば購入先に問い合わせてください
夜間撮影が出来ない	購入先に問い合わせてください
EMAPが接続出来ない	ネットワークが接続されているか確認してください
専用ビューアがインストールされない	OSを確認してください。Windows VISTA, 7、8の場合は管理者権限でインストールしてください。
部分的にフレーム、映像データ流失	SDメモリ推奨製品使用と8GB以上はClass 6以上を使用してください。
PCでSDメモリ認識されない	SDメモリリーダー機製品仕様がSDHCサポートされているか確認してください。
SDメモリに保存されているデータと現在時間が合わない	GPS 正常動作後、時間が自動で設定されます。SDメモリに保存されている設定値の内、標準時間帯を確認してください。
録画されている映像が黒くなる。音声は正常出力される	グラフィックカードドライバ互換性問題で最新ドライバをインストールしてください。

参考事項

保証と責任の範囲

- 本機は衝撃等を検知して映像を記録する機器ですが、あらゆる状況において映像を記録することを保証している製品ではありません。
以下の場合などは、衝撃等が検知できず映像が記録できないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定された衝撃センサーの感度に満たない場合
 - 本機の本体が固定されていない等の取付状態に問題がある場合
- 衝撃を検知しても映像が記録されなかった場合や記録された映像データ等が破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つようにも開発した製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

GPS注意事項

- 周辺環境、社内環境により受信時間に差が出ます。
- 設置時注意事項
ETC端末機、ナビゲーションはなるべく離れて設置してください。
全面窓上部に付着時、受信影響もあります。
電源はOFF状態にしてください。
- 受信所要時間
GPSは書く衛星から送る信号をもとにかなり複雑な計算を通じ現在位置を把握し、衛星は時間が過ぎることで位置が継続的に変更されるので、GPSがOFFになってから経過した時間によりGPSが正しく動作するまでに所要される時間が全て異なります。
即ち、GPSが最後に記憶している衛星位置と現在の位置がずれが多いほどもっと時間がかかります。
- GPS 電源が切れてから付いた時間が短くてもGPSが付いているときに衛星信号が正しく受信が難しい場所にある場合(地下駐車場など)GPS受信に時間が多くかかります。

SDHCカードの使用時の注意事項

■ SDHCカード推奨使用方法

1. NEXT V2添付または使用することを推奨
2. SDHC 専用のリーダーの使用
3. 本体にSDHCカードを差し込む時の注意
4. 製品の正常作動可否を確認するための週 1回以上データ確認の推奨します。
5. 1ヶ月2回以上のSDHCカードを初期化して使用を推奨します。
6. 信頼性テストが完了されたSDHCカードの使用を推奨します。

SDメモリ互換テーブル

- SDHC Class 6 Type(SLC,MLC)以上サポート
- FAT32サポート
- Sandisk Ultra Class4- 4G/ 8G/ 16G/ 32Gサポート

- SDHCカードの抜き差しを行う場合は、必ず本機の電源を切って下さい。
- 一般的にSDHCカードは使用可能な期限がありますので、長期間使用した際には新しいデータを保存することができない事があるかもしれません。
このような場合には新しいSDHCカードを購入して使用して下さい。
長期間使用によるデータ消滅に対して弊社は一切の責任を負いません。
- 高温多湿な場所や腐食の恐れがある環境では使用及び保管しないで下さい。
- 保管や運搬時、静電気及び外部の電圧によってデータが破壊される事があります。
できるだけ保管ケースに入れて保管してください。
- SDHCカード記録及び削除(フォーマット)中、又は再生のためにデータ読み込み中にカードを取り出したり、電源を切った場合、記録したデータが消滅(破損)する事があります。
- 記録したデータの消滅(破損)等について弊社は一切その責任を負いません。
重要なデータは必ず他のメディア(ハードディスク、CD、リムーバブルディスク等)にコピーして保管して下さい。

参考事項

時間設定

- 国別の時間設定 : ビューワーの設定画面より該当時間帯を選択して下さい。

国別の時間設定が正しくない場合、記録時間が違うことがあります。
GPSから UTC 時間を受信すると自動で国別時間設定された値に変更になります。

カメラレンズ

- レンズ部位は常に綺麗に保って下さい。
- 本機を設置したフロントガラスも綺麗に保って下さい。

専用ビューアーのパソコンの推奨仕様

- CPU/Memory : P4 2GHz以上 / 512MB 以上
- OS : Widows XP Home/Pro, Vista
- グラフィック : Direct X 9.0C 以上
- HDD : 200MB 以上の余裕スペース

※ システム仕様によって再生時、映像、音声途切れる現象が発生する事があります。

エラー

- 下記のようにエラーが発生する場合、SDHCカードを再挿入、同一症状が引き続き発生する場合には **SDHCカードを初期化しなければなりません。**

- 1> 電源を入れた後、2～3分以内にREC LEDが点灯しない場合
- 2> 繰り返し再起動する場合

衝撃イベント

- 衝撃イベントの敏感度は車種類と路面状態によって適用範囲が変わる事があります。

各状況別LED & ブザー音

1. 電源ON	REC, GPS ランプ ON, BUZZER 一回鳴る
2. 起動中	REC, GPS ランプ ON
3. デバイスドライブ LOAD	REC, GPS ランプ OFF
4. SDカード検査, 復旧, JDRレコーディングシステム生成.	REC ON, GPS OFF => REC ON, GPS ON => REC OFF, GPS OFF 繰り返す.
5. ファームウェアアップデート時	REC ON, GPS ON => REC OFF, GPS OFF 繰り返す.
6. レコーディング開始.	REC ON, BUZZER 一回鳴る.
7. GPS 機能動作が出来たとき	GPS ランプ ON
8 GPS機能動作のためにGPS信号受信中のとき	GPS ランプ ON => GPS LED OFF 繰り返す
9. SDカードがない場合	REC ランプ OFF, 2秒に一度ずつBUZZER 鳴る.
10. SDカード録画空間がないとき	REC ランプ OFF BUZZER => びびびび..3秒待機 びびびび3秒待機無限繰り返す.
11. SDカードはあるがSDカードが損傷されて録画出来ないとき	REC ランプ OFF, BUZZER => び 0.5秒待機 ぴ 0.5秒待機 2秒後繰り返す. 原因及び解決 : SDカード損傷で交換必要
12. GPS 信号が受信されないとき	GPS ランプ OFF 原因及び解決 : GPSモジュール不良又はモジュールとボード間の接続不良
13. Cameraモジュールから映像データが受信できないとき	BUZZER => びびび..2秒待機 ぴぴぴ 2秒待機 これを 5回反復し再起動される 原因及び解決 : カメラモジュール不良又はモジュールとボード間接続不良.
14. ファイルシステム不良, SDカードにデータ記録するときにデータを使えないとき発生.	BUZZER => びびびび..2秒待機 ぴぴぴぴ 2秒待機、これを2回繰り返し再起動される 原因及び解決 : SDカードに BAD SECTORが出来たとき発生. 再起動してからこれにより損傷されたレコーディングデータが復旧されます. SDカードは BAD SECTORのために余分の空間を持っています. それで、再び再起動するとBAD SECTORが見えません. しかし BAD SECTORが多く発生すると余分の空間を超え、SDカードを交換しないといけない.

製品保証書

製品名	ドライブレコーダー		モデル名	
Serial NO.			購入日付	
お客様氏名	名前		電話番号	
	住所			
購入場所			電話番号	
保証期間	購入日から1年			

修理を依頼する時は購入日付が記載された本保証書の提示が必要ですので、必ず保管しておいて下さい。

1. 本製品に対する品質保証は保証書に記載した内容で保証を受けられます。
2. 無償保証期間は購入日付から算定しますので、購入日付を必ず記載して下さい。
3. サービスを受ける場合、弊社または指定された協力会社よりサービスを提供します。

【製造】

社名 Tibet System Co,ltd

住所 6F.Lotte IT Castle 2nd,550-1
Gasan-dong,Geumcheon-gu
Seoul,Korea

TEL +82-2-822-3922

FAX +82-2-812-3926

【販売】

社名 株式会社 綾瀬設備工業

住所 〒121-0055
東京都足立区加平1-10-8

TEL 03-5849-2427

FAX 03-5849-2428